

事例 NO.30		
事業の種類	砂防・治山	
環境配慮の概要	治山ダムの表面修景	
事業名	予防治山事業（渓間工事）	
事業主体	広島県（担当機関：備北地域事務所農林局庄原支局林務第一課）	
実施場所	広島県比婆郡西城町大字油木	
実施期間	平成10年度	
事業概要	全体事業費	47百万円
	施工区間等	堤長 = 56.0m, 堤高 = 4.5m, 体積 = 425.4m <sup>3</sup> , 石張 = 523.8m <sup>2</sup>
	事業の目的・経緯等	平成9年の大雨により山腹が拡大崩壊し、溪流の侵食や土砂流出がみられるため、治山ダムを設置した。 当該施工地は、比婆道後帝釈国定公園内「県民の森」区域に位置するため、現場で採取した石による石張工を施工し、環境に配慮するとともに、溪流に生息するゴギ等の水生生物の生息空間の確保及び親水性の配慮を行った。
環境配慮の内容	工法等 ・現地採取した自然石を利用し、治山ダム表面の修景として石張施工とした。	
施工後の状況	効果 ・自然の物（自然石）を使うことによって、視覚的にも威圧感がない。 ・溪流の流速が軽減され、魚道・魚礁の役目を果たしている。	
留意点等	・自然石の石張りのため、現地採取及び石張りに手間がかかる。	

(図面, 写真, 説明)



【正面図】



【側面図】



【施工後の状況】

現地採取した自然石を利用し, 景観配慮及び生物生息空間の確保のため石張り施工とした。

出典